

ATAハイブリッド構法に対応

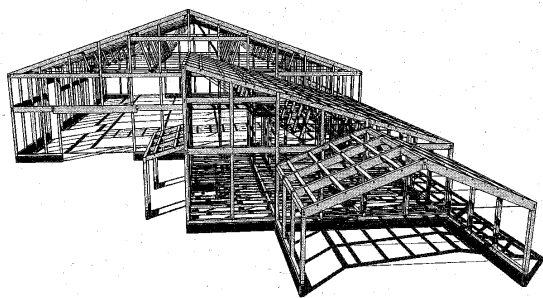
ネットイーグル

ネットイーグル(福岡市、祖父江久好社長)はATA(富山県滑川市、大倉義雄社長)のATAハイブリッドトラス構法に対応したプレカットCAD/CAMシステムを開発した。アーキテクト研究所の構造計算ソフトと連動し、梁受け金物やトラス金物の接合部を全自動で加工できる。独自技術である断面図入力機能を搭載しており、入力しやすく、取りも3次元パスで自在に確認できる。

一般流通材で最大スパン33m

コスト競争力で鉄骨市場開拓

ATAハイブリッド(り材)を組み合わせたトラス構法は木材(圧)ハイブリッドトラス構法(縮材)と鋼材(引)張造。1200×4500、



全体パス図

×6段までの一般流通材で最大33段までの大スパンを実現できるのが特徴で、コスト競争力が高く、一般のプレカット工場が参入できない中大規模建築構法として導入する動きが広がっている。

ネットイーグルが開発したCAD/CAMシステムは、同社のプレカットCAD-Xstar)に対応。アーキテクト研究所の構造計算ソフトASTIM(2017年実績)と連動し、同ソフトでトラス解析、部材断面算定、構造計算を実施したデータを読み込める。断面図入力が可能

設計、加工を合理化

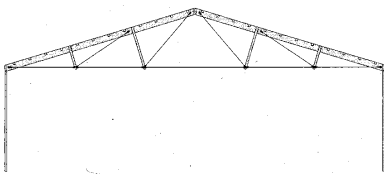


断面図入力画面

潜在需要は1万2000棟強

住宅を補う成長市場に

ATAによると、産業用鉄骨建築物の市場規模は5万3990棟(2017年実績)だが、この分野の需要が新築需要を補う新たな成長分野になりつつある。ATAが狙っているのは、既にATAの提携プレカット工場は全国42社、建築士は45棟を超え、今年10月、3年後にはトラス供給で1本を目標と見込んでいる。

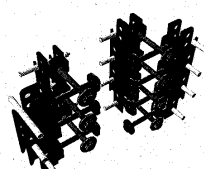


部分パス図

丸鋼が6段以上にになると自動的にターンバックルが生成される。加工形状や取まりはリアル加工パスで同時に確認でき、任意の取りまわりを選択すると部分パスも作成できる。クレビスと木材、丸鋼とボルト、パイプなどの干渉も自在に手

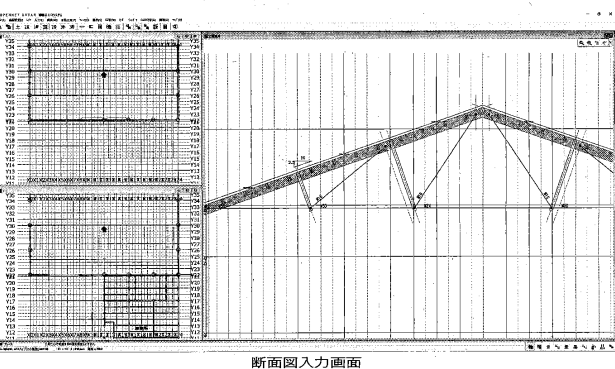
め付けるナットの隙間が無く、それ自体がアイヤーストップ構造になる。また、柱側に加えるナット部分の突起が位置決め役を果たすため、取り付け精度が高いのも特徴という。

祖父江社長は「鉄骨問営業の仕方などを指導するほか、設計事務所や工務店、県庁や市役所への同行営業を行っている。また、大型木造トラスの構造計算ができる建築士を養成するため、アーキテクト研究所と連携してセミナーを開くほか、講師も派遣する。」

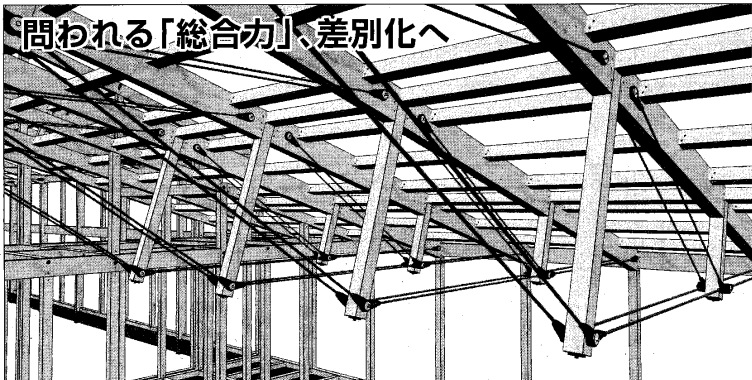


ATA金物

物は梁受け金物を柱側に埋め込むため、梁側にボルトを留

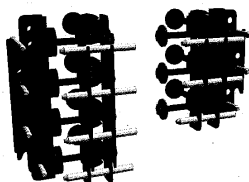


断面図入力画面



問われる「総合力」、差別化へ

OPEN-NET Xstar
非住宅プレカット魅力の33mスパン
ATAハイブリッド構法
先進システムで未来を切り開く



完全対応

NET EAGLE
ネットイーグル株式会社
<http://www.neteagle.co.jp>

本社
〒819-0001
福岡市西区小戸
3-54-50
050-3536-5961

中部テクノセンター
〒483-8213
愛知県江南市古知野町
朝日165 ナガタニビル3階
050-3538-0221

東京CADセンター
〒108-0023
東京都港区芝浦2-14-4
オーゼネクスサス芝浦5階
050-3533-2894